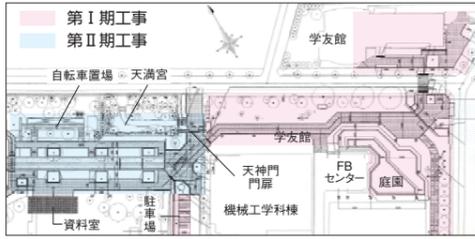


新たなキャンパス、リニューアル計画

「学友門(仮称)」新設 6月着工、9月末完成予定



「学友門」新設で、キャンパスアプローチは明るく開放的にイメージ新

学友会館の向い側に新たな校門が設置される。「学友門」と名付け、人・自転車だけが通行できるようにする。現在、正門では人と車等が利用しているが、この動線を分けることにより安全性を確保し、キャンパスへの入構場所が駅から200m程近くなる。

今回新設される「学友門」は、正門より200m手前に設置される。外部からの学生や来学者は本学キャンパス内へここから入る事ができる様になる。

今迄、駅から正門へ歩いてくると、学友会館の前まで来たところで、「正門まで200m」という看板を目にし、少しかかりして

まう。そこで、学友会館の向い側(キャンパスの北東)に新たに人・自転車専用の校門を設置することになったのである。

現在、正門は人と車等が混在して利用しているが、「学友門」は人・自転車に特化した、動線を分けることにより、人が安全に歩く事ができるようになる。また、ライブ前

の交叉点を左折したところ、「学友門」が目の前に現われ、LCセンターなどが見渡せるため、そこでキャンパスの奥行きを感じることが出来るものと考えられる。

設計監理は従来から造園・植栽管理の指導を受けている愛植物設計に依頼した。

工期は6月から9月一杯の予定。工事は2期に分けて計画しており、第1期工事が新設の「学友門」から天神門までのエリア、第2期工事が、天神門から正門手前までのエリアである。第2期工事エリアは、車のメイン通路になっているため、夏休み期間中に集中的に施工する。また、新設の「学友門」から東門へと続く構内歩道も整備し、併せて新駐輪場も設置することになっている。

秋学期には新たな門、新たなアプローチが完成し、キャンパス・イメージが一更新されるであろう。更に学友会館の周辺部分についても手を加え、「学友門」と学友会館との一体感を作り出すよう考えている。

7/11(土) 第5回「本学卒業 現職教員の集い」の開催

「集い」の目的は、全国の中学校・高校等に在職する本学卒業現職教員と本学との連携を深め、相互の発展を図ることである。

今年も、昨年に続き本学内で開催する。奮ってご参加ください。

加のうえ、交流を深めていただきます。

実施要領は以下の通り。

日時 平成21年7月11日

場所 本学LCセンター

内容 本学LCセンター

◎現職教員研究発表

- ・世田谷区立用賀中学校 永野祥夫氏
- ・埼玉県立越谷総合技術高等学校 津野章久氏
- ◎挨拶・講演 学長 柳澤 章
- ・入試室長 川村清志
- ・工業教育研究所長 原田 昭
- ◎学科交流会
- ◎懇親会 (工業教育研究所)



昨年度の開催風景(於LCセンター)

「本学の自己点検・評価」認定される

—(財)日本高等教育評価機構より認定—



平成21年3月、本学は(財)日本高等教育評価機構より、大学機関別認証評価について、評価機構が定める大学評価基準を満たしていることが認定された。

認証評価は、平成16年4月1日からすべての大学、短期大学及び高等専門学校に義務付けられており、その教育研究水準の向上に資するため、政令で定める5年以内(専門職大学院は5年以内)に一度、文部科学大臣が認証する評価機関の実施する評価を受審することになっている。

本学独自の優れた取組みを評価、改善すべき課題も。詳しくは本学ウェブページで

NIITクリエイイトが日建学院と提携 2級建築士、宅建の資格講座受講が容易に

このほど、NIITクリエイイト(旧・日本工業大学サリースセンター)と日建学院で「資格取得支援講座」に関する覚書を締結し、本学の学生へ向けた資格取得支援事業(スタディガイド)を本格的にスタートさせた。今回、両社で提携した内容には建築学科4年生と大学

院生を対象とした「2級建築士アカデミック講座」と本学に在籍する全ての学生を対象とした「宅地建物取引士資格講座」である。

大きなメリットは、まったく同じ内容の講座を日建学院へ申し込んだ場合、2級建築士では16万8千円、宅建の場合、10万5千円の授業料がかかること、NIITクリエイイト経由で受講すると通常価格より格

平成21年度の「出前授業」

平成20年度は、86回の出前授業を実施し、特にセグウェイ(平行二輪車)やロボット関連等動きのある内容に高い関心があった。発足した7学科体制に基づき、各学科の特質と研究内容を織り込んだ出前授業プログラムのテーマを紹介する。

- 【機械工学科】
 - ・昆虫や植物に学ぶ新しいものづくり
 - ・最軽量金属マグネシウムの成型加工
 - ・レーザではじめものづくり
 - ～レーザってなに?どんな加工ができる?～
 - ・機械要素のいろいろ
 - ・身の回りの機能材料
- 【ものづくり環境材料】
 - ・小さな小さな泡“マイクロバブル”の不思議
 - ・「もったいない」精神で毎日の生活をみなおす
 - ・風車をつくるクリーンエネルギー
 - ・製品の生涯(製造～使用～廃棄)全体の環境影響を考慮してみよう
 - ・文明の跡地は砂漠になる(森を創る文明・森を壊す文明)
- 【創造システム工学科】
 - ・環境を守る黒いダイヤモンド
 - ・光る半導体-LEDの基礎
 - ・画像センサーの仕組み
 - ・自動車に見るナノテク技術
 - ・ロボットとサイボーグ
- 【電気電子工学科】
 - ・聞こえない音のお話
 - ・世界を驚かせた新幹線電車の苦難の開発からインバータ時代の今日まで
 - ・コンピュータと暗号化技術
 - ・のぞいてみよう”ナノ”の世界
 - ・次世代電気自動車は環境問題を解決する
- 【情報工学科】
 - ・「分かる」の仕組み
 - ・障がい者や高齢者を支援する情報技術の話
 - ・数学と情報の問題を数式処理ソフトで解く
 - ・情報通信ネットワークとは何だろう
 - ・どこでもコンピュータ
- 【建築学科】
 - ・建築基礎と地盤
 - ・はじめの耐震工学
 - ・地球温暖化対策としてのエコリフォーム
 - ・建築設計の魅力
 - ・建築設計の現場から
- 【生活環境デザイン学科】
 - ・歴史を生かしたまちづくりは高齢者に優しい
 - ・とびきりの建築空間視察の旅
 - ・建築材料のあれこれ
 - ・住宅設計のプロセス
 - ・図面で住宅を読む
- 【共通教育系】
 - ・「だまし絵」の秘密
 - ・面白い科学の演示実験
 - ・むしめがねでのぞいてみると
 - ・クラスの中に同じ誕生日の人がいるか?
 - ・平行二輪車「セグウェイ」で体感する
 - ・ロボット制御の基礎
 - ・大学への進学ガイダンス

授業料がかかること、NIITクリエイイト経由で受講すると通常価格より格

等も明らかになった。

今後、次回の受審に向けて大学の継続的な質の保証を行なうことが求められる。なお、自己評価報告書および評価報告書は本学ウェブページで公開されている。



「2010大学案内」(上)と「ブックレット」(右)

平成22年度入試がいよいよスタートする。注目すべき点を紹介する。

◆特別奨学生40名に増員

成績優秀で向学心あふれる受験生を幅広く受け入れるべく、募集人員を40名に大幅に増員(従来12名)。募集時期も2回(8月、1月)とした。特別奨学生に採用された入学した方には、1年次の学費の半額が免除される特典が与えられるので、是非挑戦いただきたい。

◆入試奨学金の給付

入試奨学金は、1年次の学費の減免として年額20万円が給付される。平成21年度には133名の方が認められた。一般入試、センター利用入試、専門高校入試

平成22年度入試がいよいよスタートする。注目すべき点を紹介する。

◆特別奨学生40名に増員

成績優秀で向学心あふれる受験生を幅広く受け入れるべく、募集人員を40名に大幅に増員(従来12名)。募集時期も2回(8月、1月)とした。特別奨学生に採用された入学した方には、1年次の学費の半額が免除される特典が与えられるので、是非挑戦いただきたい。

◆入試奨学金の給付

入試奨学金は、1年次の学費の減免として年額20万円が給付される。平成21年度には133名の方が認められた。一般入試、センター利用入試、専門高校入試

入試で入学した方には、本学の工学教育プログラムへの挑戦を期待している。

◆大学案内の発行

2010大学案内が完成した。本冊子は、本学が目指す人材育成、工学教育や環境教育などの教育プログラム、各学科の特色、支援体制等を紹介している。また、大学案内のミニ版ともいえる「ブックレット」も完成。女子受験生向けに、本学の特色や学生生活を紹介している。

入手希望者は、教務部入室(0480・33・7676)まで。

入試で入学した方には、本学の工学教育プログラムへの挑戦を期待している。

◆大学案内の発行

2010大学案内が完成した。本冊子は、本学が目指す人材育成、工学教育や環境教育などの教育プログラム、各学科の特色、支援体制等を紹介している。また、大学案内のミニ版ともいえる「ブックレット」も完成。女子受験生向けに、本学の特色や学生生活を紹介している。

入手希望者は、教務部入室(0480・33・7676)まで。



新入生25名を迎えて新年度がスタート

新任の専任教員とともに 第5期生が入学

4月2日(木)夕刻、神田キャンパスの専門職大学院・技術経営研究科では、柳澤学長をはじめとする大学幹部、来賓、専任教員列席のもと、3名の専任教員が加わった新しい陣容で、25名の新生を迎え、入学式が挙行された。また、本年はスタッフの充実だけでなく、修了生の希望や教員等の意見を取り入れ、科目の新設・

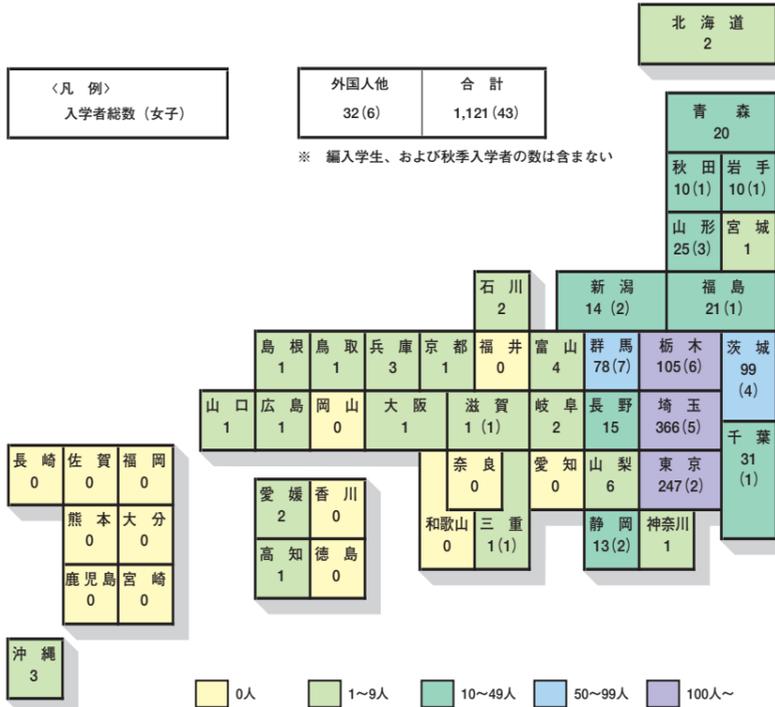
統廃合を実施した。今回入学した5期生25名の内訳は男性23名、女性2名である。平均年齢は43歳弱であり、従来よりも若干高くなった。年齢構成は60代以上2名、50代3名、40代8名、30代10名、20代2名で、30代及び40代の中堅社員が過半数を占める。その中で最年長の入学者は70歳、最年少は28歳である。従来から60歳以上の入学者は毎期一定の割合を占めており、気力、体力のある高齢院生の向学心と努力が、

同期の院生の刺激になっている。悪影響が、この数字にも現れている。企業派遣の院生諸君は未曾有の不景気の渦中に派遣を決定してくれた所属企業への感謝の気持ちにあふれ、また自費での進学を決心し、入学した院生諸君は将来の自分への投資という意気込みが、授業および日常の会話を通し、我々にも伝わる。教職員一同、院生のこの気持ちをしっかりと受け止め、学習への期待を裏切らないような授業の提供とサポートに日々努力しなければならぬという決意で新学期に臨んでいる。

企業派遣が入学者全体の約50%であったが、今年度は他4%である。また従来、企業派遣による入学者は

大学院技術経営研究科
教授 近江正幸

新入生の出身地マップまとまる



平成21年度本学部入学者の都道府県別入学者数がまとまった。総入学者数は1121名。うち女子学生は43名、留学生等は32名である。都道府県別入学者数は、昨年に続き埼玉がトップで366名。次いで東京が247名、栃木105名、茨城99名、群馬78名がベスト5である。この5都県の合計は895名で、全入学生の約80%を占める。

●平成21年度 女子学生在籍者(学部)

学年	機械	ものづくり	創造システム	電気電子	情報	建築	生活環境	合計
1年	3		2	7	7	16	12	47
2年	4		5	5	7	19		40
3年			6		4	26		36
4年	1		6	3	5	18		33
計	8	0	19	15	23	79	12	156

●平成21年度 留学生在籍者(学部)

学年	機械	ものづくり	創造システム	電気電子	情報	建築	生活環境	合計
1年	5	1	7	15	10	2	1	41
2年	8		12	8	11	6		45
3年	7		9	5	7	2		30
4年	3		11	5	7	2		28
計	23	1	39	33	35	12	1	144

●留学生の出身国・地域

出身国・地域	計
中華人民共和国	114
サウジアラビア	9
大韓民国	7
タイ	2
バングラデシュ	2
ベトナム	2
ミャンマー	2
中華民国	2
イギリス	1
イタリア	1
ケニア	1
ネパール	1
計	144

大川陽康奨学金および 日本工業大学学業奨励奨学金 受給対象者認定証授与式



学長と記念撮影をする学業奨励奨学金受賞者(建築学科)

本年度より新設された大川陽康奨学金および本年度の日本工業大学学業奨励奨学金の決定を受け、4月20日(月)、情報工学科棟5階会議室において、その受給対象者に対する認定証の授与式が挙行された。

本年度より新設された大川陽康奨学金は、適用対象は入学者のうち、成績共に優れた本学大生が対象となる。本年度は専攻が建築学科の5名が認定された。また、日本工業大学学業奨励奨学金は、平成17年度から3名、計15名が認定された。認定証の授与式は、4月20日(月)、情報工学科棟5階会議室において、その受給対象者に対する認定証の授与式が挙行された。

建築コンペ、マイクロボコン、プロダクトデザインコンテスト

作品大募集

建築コンペ作品募集

— 小さな豪邸 —
8月31日締切・9月末日 入賞発表

23回目を迎える建築を学ぶ高校生を対象とした日本工業大学建築設計競技の今年の課題は、「小さな豪邸」。「豪邸」というからには、ただの住宅ではない。「家」として本当の豪華さとは何かを考え、空間を通して、そこに住むことが豪華に感じられる素敵な豪邸の提案を期待する。審査委員は、建築家の小嶋一浩氏(東京理科大学教授)、本学建築学科伊藤庸一教授、同武田光史教授の3氏。締切は8月31日。
HP: <http://www3.nit.ac.jp/kenchiku/compe.html>
E-mail: kenchiku-compe@nit.ac.jp



LCセンターでの入賞作品の展示風景(昨年度)

第3回マイクロボコン大会

参加募集

来る9月12日(土)に、本学で第3回マイクロボコン高校生大会が開催される。1インチ角のロボットが所定のコースを自立的に走行し、時間を競うコンテスト。わずか1インチ角のロボット内にCPUやバッテリーを搭載し、数十cmの大きさのロボットに匹敵する機能を持つ様に設計要求される。実習などで余った端材で製作が可能で、省エネルギー・省資源をめざすエコロジーなコンテストでもある。問い合わせ等詳細はWEBにて。応募もWEBより登録可能で、締切は8月22日。
(<http://ise.nit.ac.jp/mrc.html>)



第2回大会(昨年度)の競技風景

第1回

日本工業大学3D-CADプロダクトデザインコンテスト

幼い頃、紙の上にクレヨンで思い思いの乗り物などをスケッチしたのと同様に、思い思いのイメージを3D-CADを用いてスケッチし、「物作り」の最先端技術を体験するコンテストを開催する。高校生なら誰もが参加でき、募集作品はテーマ部門「障がい者用自動車ハンドル」と自由デザイン部門「自由テーマ」。自動車用ハンドルは元GPLレーサー青木拓磨氏に審査を依頼している。参加希望者は8月15日迄に、本学ホームページから検索するか、機械工学科コンテスト事務局(nagasaka@nit.ac.jp)まで。



プロダクトデザインコンテストのマーク

新入生歓迎イベント



今年度から、学群対抗で競技を競った

毎年4月、5月には、学生自治会の各委員会が主催する新入生を歓迎するイベントが開催される。その中で、主だったイベントを紹介する。

4月18日(土)午後4時30分から、恒例の大学祭実行委員会主催「春のぼかぼか」のイベントが、体育館にて開催された。

5月21日(木)には、中央執行委員会主催の新入生歓迎講演会が行われた。今回の出演者は、超新星、禅、ハライチの3組。テレビなどのお笑いタレントだけに、この日を心待ちにしていた

かこんさあ」とが「行われた。ゲストは、星野みちる。彼女は、2007年6月までAKB48のメンバーとして活躍していた。現在はアーティスト、一方でシンガーソングライターとしても活動の場を広げている。当日は、彼女の透き通るような歌声が体育館に響き渡った。

5月22日(金)には、体育祭実行委員会主催の第42回「障がい者用自動車ハンドル」自由デザイン部門「自由テーマ」。

生には好都合だったようで、平日にもかかわらず学友会館ホールは満席。会場は、このテーマには、新入生が学生の熱気と笑いで大盛り上がりだった。

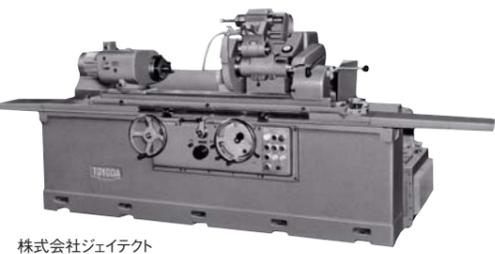
5月22日(金)には、体育祭実行委員会主催の第42回「障がい者用自動車ハンドル」自由デザイン部門「自由テーマ」。

主催者側の思いが込められている。期待と不安を胸に入学した新入生だが、この時期になると学生生活にもだいぶ慣れたようで、体育祭を楽しんでいた姿が印象的だった。

第11回

歴史的な工作機械の顕彰

我が国のものづくりを支えた名機4機種を表彰



株式会社ジェイテクト 油圧式円筒研削盤 LGシリーズ G28形、G15形、G30形

株式会社オーエム製作所 立て旋盤 TMS1・TMS2シリーズ



オークマ株式会社 形削り盤 SSシリーズ



ダイセイ株式会社 ラジアル玉軸受軌道面超仕上げ盤 SF-32形



ロングライフ・ベストセラール賞

「歴史的価値のある工作機械を顕彰する会」(会長・守友貞雄理事、事務局・当博物館)による第11回顕彰機種が決まり、6月2日(火)に学友会館で表彰式が行われる。数多くの候補機種の中から推薦委員会および審査委員会で厳正に審査された選ばれた4機種は、いずれも開発された後、我が国の経済成長を支えた、工作機械の歴史に残る名機であり、製造した企業に顕彰権が贈呈される。

ベストテクニカル賞

「顕彰機種の概要」
●ロングライフ・ベストセラール賞
「ジェイテクト・油圧式円筒研削盤LGシリーズ」(製造開始・昭和40年) 独自開発の静圧軸受、操作性が良く安定した砥石送り機構と原点補正装置、レバーによる早送り研削送りの切替え装置等、高性能・高品質確保と使い勝手向上を同時に達成させた新技術を多数搭載し、日本初のコンベア方式での組立にも成功。海外競合機に比べ50〜30%の低価格で供給でき、13年間に3100台製造され30%を占めている。

「オークマ・形削り盤SSシリーズ」(製造開始・大正14年) 大正11年に開発に着手し、世界各国のカタログを集めてラムの滑り面の長さなど主要寸法を決定したもので、各社の良いところをミックスした機械に仕上げている。同社の形削り盤の基礎を築いた機種であり、当時の官庁の購買規格では形削り盤の規範となっていた。戦争で中断後昭和25年に生産再開し、昭和40年まで生産され、後継機種を合わせて千数百台になると推測される。

「ダイセイ・ラジアル玉軸受軌道面超仕上げ盤SF-32形」(製造開始・昭和41年) ワーク搬入出、中間軸、砥石ホルダを改良した機種である。砥石の動きを従来主流の加工面ならい揺動方式(無心式)から軌道面形状修正能力のある有芯式として性能の向上、生産性と保守・信頼性の向上を実現し、自動運転も可能としたことが特徴である。33形を含めて18年間に543台製造(15台輸出)され、昭和57年にはNC制御機を完成させている。

浜田君がIEEE日本支部の学術奨励賞を受賞



3月18日、縮とその特性。インパルス情報工学専攻 磯野研究室(今)の学術奨励賞(Young Scientist Award)を受賞した。受賞論文題目(和訳)は「アンパルスフィルタを用いた2相幅広符号のパルス圧縮」。

浜田君は「博士課程の5年間をかけて研究した成果が認められ、本当にうれし感謝したい」と語っている。

研究内容と併せて高い評価を受け、今回の受賞となった。山下君は学部生という立場でありながら海外で論文を発表する機会に恵まれた上、名誉ある賞をいただいた。

「これは貴重な体験だった。指導していただいた神力先生をはじめ、皆さんに感謝したい」と語っている。

佐々木さんが表面技術協会講演大会で学術奨励講演賞を受賞



システム工学科 3月16日から3日間の日程で開催された表面技術協会第19回講演大会で、第15回学術奨励講演賞を受賞した。

この研究では、インクジェット方式として初めて「フット方式」を開発し、

情報工学科・神林研所属の生井君、金原君、山岸君が卒業論文奨励賞を受賞

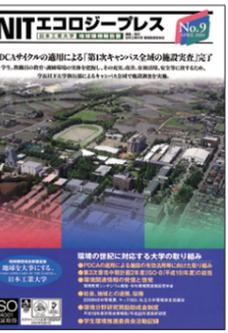
有佑君(日本工業大学付属東京工業大学出身)、山岸拓也君(埼玉工業大学出身)が3月15日、日本経営工学会北関東支部卒業論文発表会において、卒業論文奨励賞を受賞した。受賞題目は「ICタグを用いたロボットの位置情報処理」。



ロボットとICタグ(実際は裏面に設置)

受賞論文の内容は同研究室で継続的に行われている群ロボット制御に関する研究の成果である。

環境マネジメント活動の推進



9年目を迎えたISO活動では「環境教育と教育・研究環境の充実」を重点課題として取り組んだ。ハード面では省エネ改修をはじめとする機能向上、ソフト面では環境教育分野などを充実した。今後一層の環境マネジメント活動の推進・充実をはかっていく。

近事片々

皆さん、こんにちは。今回は、今回、この記事を依頼された「友達」の存在が、上る原稿を書き上げた。また、4年生の卒業研究活動について振り返りたいと思います。

先輩だより



富田俊晴 (埼玉県立秩父農工高等学校*出身) *現・埼玉県立秩父農工科学高等学校 電気電子工学科(2007年卒業) 東日本旅客鉄道株式会社

振り返り... 富田俊晴 (埼玉県立秩父農工高等学校*出身) *現・埼玉県立秩父農工科学高等学校 電気電子工学科(2007年卒業) 東日本旅客鉄道株式会社

「近事片々」の続き。日本工業大学の在学生の多くの方が工業高校出身だと思えます。私自身も工業高校の電気科出身で、高校卒業時には就職しようかと迷ったものの、周囲の影響もあって日本工業大学に進学しました。

「先輩だより」の続き。この卒業研究の中で森先生の経験談やご指導をいただいた事や研究室で一緒に取り組んだ「友達」や「後輩」と過ごした日々は今でも忘れられません。卒業してから既に2年が経ちますが、

